

第 374 回
株式会社テレビ新潟放送網
放送番組審議会

- 1 開催日時 2021 年 1 月 25 日 (月)
2 開催場所 テレビ新潟本社
3 委員総数 7 人 出席委員 7 人

出席委員

若杉 隆平	委員長	田村 明子	副委員長
飯塚 智	委員	増満 浩志	委員
大久保 千春	委員	柳川 かおり	委員
本宮 宏美	委員	※飯塚委員はレポート出席	

会社側出席者

代表取締役社長	小山 章司
常務取締役放送本部長	稲田 裕之
取締役報道制作局長	寺内 邦彦
編成局長兼番組審議会事務局長	羽田 朗
報道制作局次長兼制作部長	竹野 和治
合評番組ディレクター	斎藤久美子
事務局	小野塚由起子 吉田 康宏

4 議 題

1) 番組合評

「そのコメはうまいか～ “越の国に光れ” 願い紡いで～」

[放送：2020年12月28日（月）11:00－11:30]

（説明：番組ディレクター 斎藤久美子）

2) 会社報告

①11月、12月の視聴者の意見 （報告：番組審議会事務局）

②講じた措置、議事概要の公表 （報告：番組審議会事務局）

③訂正放送、取り消し放送の有無 （報告：番組審議会事務局）

④2020年年間視聴率の報告 （報告：番組審議会事務局）

3) その他

5 審議の概要

会社側からは、「昨年度、猛暑の影響で新潟のコシヒカリの一等米比率が25%余に留まる大打撃を受けたことから、今年度は関係者がコメづくりにどう立ち向かうのかを追いかけてきた。コシヒカリ、中でも魚沼のコシヒカリが愛されてきた歴史をひも解いて、なぜ愛されてきたのかを描こうと思った。南魚沼はかつて土壌が悪く、農家は苦勞してきたが、そういう土壌だったからこそ、先人はおいしいコメにこだわってやってきた。番組を通して、『おいしいコメのある日常の幸せ』を感じてほしかった」という主旨の説明があった。

（委員の意見）

●歴史を知れて、新品種の研究から実践する農家が描かれていて、消費低迷の対策、未来の希望が30分という短い中に描かれていた。

●おコメに限らず、国産、かつ新潟県内の地産地消のものにお金を落としていく大切さに改めて気づかされた。

●タイトルで「おコメのおいしさを追求する番組」と見始めたが、

歴史や生産者の思い、学びや発見もあり興味深く見る事ができた。

●別番組で「コシヒカリの発祥は福井」というのを見たが、この番組をみて「育てて発展させたのは新潟」と認識できて良かった。

●データで歴史や課題が客観的にわかる部分と、家族の食卓や農作業など新潟県人として共感できる部分がバランスよく入っていた。

●「コシヒカリBL」や新品種「新之助」への言及がなかった。「新之助」がどういうポジションにあるのか説明があると良かった。

●揺るぎないトップブランドを受け継いできた農家が不安を抱きつつあるという様子が、表情や言葉から感じられて印象的だった。

●冒頭の「当たり前のように日々口にしているおコメ、ふだん味わって食べていますか」という問いかけにより、農家だけでなく視聴者自身の問題でもあると感じさせられて、番組に厚みが出た。

●新潟のコメ農家とコシヒカリの歴史、課題解決への取り組み、そして人々の情熱がコンパクトかつ的確に盛り込まれていた。

●なぜ新潟のコシヒカ리는これほどおいしくなったのか、ブランドを根付かせるためにどんな努力や苦労があったのか、利栄さんの父親の代から現在に至る取り組みをもっと紹介して欲しかった。

●新潟県民にとっては関心の高いテーマで有意義な番組だった。映像がきれいで、小林さん一家も存在感があって、見応えがあった。

●生産者と開発者は登場したが、消費者のニーズも多様化している。「食べ手」をもっと描けると、解決へのヒントになったと思う。

●新潟、特に魚沼の自然の力を生かし、消費者の目線も意識しながら、コメづくりに真摯に向き合ってきた農家を落ち着いて報道した新潟ならではの番組だった。ぜひ全国放送してほしい。

●暑さは不可逆的なもので、NU1号はひとつの重要なヒントになる。この部分がもう少しあれば番組に広がりや勢いが出たと思う。

6 会社側の報告

1) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

11月…… 168件 12月……383件

2) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会(2020年11月30日)から、昨日(2021年1月24日)まで、総務省に届け出た訂正放送、取り消し放送はありませんでした。

7 審議機関の答申または意見(前回審議会)に対してとった措置

1) 前回第373回審議会では、

「雨には負ケズ ～豪雨時代 あなたを守る新防災～」を審議いただき、委員の意見は議事概要にて記者制作スタッフ、社内に周知しました。

2) 番組審議会議事録を全社員・スタッフに回覧しました。

8 今回の第374回放送番組審議会の公表

1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支社の県内事業所に議事概要の書面を準備しています。

2) 当社のニュースで審議会の概要を放送します。

3) TeNYホームページに議事概要を掲載します。

9 参考事項(委員への配布資料)

- ・第373回番組審議会議事録
- ・11月、12月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表
- ・BPO報告(N0.220) ・民間放送新聞(2169～2171号)

以上